

やまばと

令和3年2月1日発行
発行者 No.37
社会福祉法人矢祭福祉会
福島県東白川郡矢祭町大字東館字藏屋敷122
TEL (0247) 46-3385
fax (0247) 46-4400



あけましておめでとうございます
門松の前で

「選ばれる法人、信頼される法人を目指して」

理事長 高信 由美子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりご利用者様、地域の皆様、関係者各位の暖かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることができましたことを心より御礼申し上げます。

昨年は、コロナに始まりコロナに終わる年でありました。新年に入ってから一都三県を始めとして、感染拡大の増加する各県に「緊急事態宣言」の再発令が出されました。東白川郡内近隣町村にも感染者が出ており、都会ではないからといって油断はできません。

まだまだ先行不透明な毎日ですが、私達はこれまで行ってきた感染防止の取り組みを更に徹底していくなければなりません。

また、本年は、改正介護保険法が四月より施行され、大きな環境変化が予想されます。いかなる変化があろうとも、「地域福祉のために今までこれからもずっと選ばれる法人、信頼される法人」を目指してまいります。皆様方の更なるご支援を心からお願い申し上げ、末筆ながら皆様のご多幸をご祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

医務室だより

新しい年を迎えひと月が過ぎようとしていますが、皆様は体調など崩されていませんか？例年ですとインフルエンザが流行している時期ではあります、今年も昨年同様にコロナウイルスの対策を徹底している為かインフルエンザの罹患者も今の所、出でおりません。今後も、アルコールによる消毒や毎日の検温測定、手洗いなどコロナウイルスに対する感染症予防に取り組んでいきます。面会制限も御家族様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、入居者の皆様が少しでも快適に過ごせるよう努めてまいりますので本年も宜しくお願いします。

給食だより

「365日の食事」

食事を毎日「口から食べる」ことは、生命維持のための栄養、水分補給だけでなく、本来的な欲求に基づく行為です。精神面の安定にもつながり「生きる力」となります。入居者さま、ご利用者さまに毎日の食事で、食べる喜びを持っていただくとともに、生活の質を維持・向上できるよう、各部署と連携して取り組んでいます。

地域包括支援センター

「お母さんがもしかして認知症？」
「介護保険でどんなサービスが使えるの？」
「近所で怒鳴り声が聞こえてくる。虐待かも…」
「健康づくりや運動ができる場所を教えてほしい」
などの相談をお受けし、介護支援専門員・社会福祉士・看護師が、介護や福祉・保険のことなど総合的な支援を行っています。来所が難しい方には訪問でお話を伺うこともできます。
お気軽にご相談ください。

連絡先 ☎ 46-3770
矢祭町保健福祉センター内(旧石井小学校)

事務だより

矢祭福祉会では、将来、当法人が運営する介護施設において、看護職員や介護職員として働くことを希望し、資格や免許を取得するために学校や養成機関で勉強する方を対象に、奨学金制度を実施しています。

◆対象・条件・奨学金の額

看護や介護の資格・免許を習得するための学校や養成機関に在学し、卒業後、社会福祉法人矢祭福祉会の運営する施設等において、看護職員または介護職員として勤務していただくことを要件に、入学金や学費について年額70万円を上限に貸与します。

◆奨学金の返済免除

矢祭福祉会に就職し当法人が運営する施設等において、看護または介護スタッフとして、就学に要した期間と同じ期間について勤務した場合には、貸与された奨学金の返済が全額免除されます。

◆相談・問い合わせ

特別養護老人ホームユーアイホーム事務室
(奨学金担当)

電話 0247-46-3385
詳しくはお気軽にご相談ください

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。まだまだコロナの脅威も収まる気配もなく自粛の年になりそうですが、コロナに負けず自分なりの目標をたて日々精進したいと考えております

華やかな団子の花が咲きました

(おひさまデイサービスセンター)

小正月飾りの団子さしをおこないました。

今年は新型コロナウイルスが猛威を振るっているので、おひさまデイサービスセンターでは、『新型コロナウイルス感染症終息』『無病息災』を第一に願って、みずの木に飾りつけをしました。米粉に赤や緑などの色を付け、花のように見立て華やかな楽しい雰囲気を少しでも味わっていただけた事と思います。

また、利用者の方からは『昔はこの団子を焼いて食べたんだよ』『みずの木の芽が団子の中に入っちゃってね』等、色々お話を聞かせていただきました。

最近は自宅で団子さしをされるご家庭も少なくなってきたため、みなさんとても懐かしそうに参加されていました。



一年の抱負を心新たに デイサービスセンター館山荘

新年初めの週に毎年恒例の「書初め」を行いました。

思い思いの言葉やお手本を参考に筆を執っていました。



14日に小正月行事の「団子さし」を行いました。利用者同士で協力し合いながら色とりどりの団子を丸め、ミズノキに飾りつけをしながら雰囲気を味わいました。



新年を祝う日に 華々しさと厳かさ (ユーアイホーム)

年頭に新年の抱負や
目標をしたためて

私達の暮らしは年中行事で彩られ
ています。

その代表はお正月です。

ユーアイホームでは入居者の方々
が同じ時間を共有し、同じ経験を重
ね、自分を取り巻く様々な物事に気づき、いつまでも心豊かに暮らして
いただけるよう、特にお正月行事には「人生を彩る行事」として大切に
しています。今回は各事業所のお正
月をご紹介します。



(年頭に新年の目標をしたためて)



(厳かな気分です)



(年神様をユーアイホームに
お迎えしました)



(松は永遠の命の象徴です)

(悪いのを取り払い
コロナ退治をしてもらいます)

感染予防に努めながら

楽しみをみつけています

(軽費老人ホームせせらぎ荘)



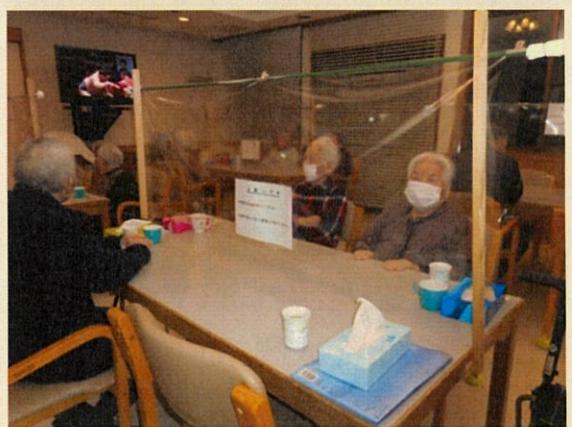
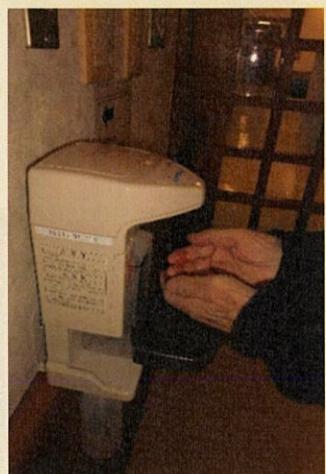
(楽しみの仕出し弁当の日)

明けましておめでとうございます。本年も、軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘入居者、職員ともによろしくお願ひいたします。

せせらぎ荘では感染症対策としまして食堂入り口にアルコール自動手指消毒器を設置しまし、みんなが統一された手指消毒ができるよう対応しています。また、テーブルにはパーテーションを設置し飛沫感染防止に努めております。会話をしながらの食事は感染リスクが上がってしまうので楽しくお食事をしていただきたいところではありますが会話は控えていただいています。

1月25日、29日には、入居者の方が毎月楽しみしそれでいる『仕出し弁当の日』を実施しました。感染症予防の観点から密を避けるため2回に分け実施しました。今回は塙町金澤魚店さんにご協力を頂き刺身付き仕出し弁当を食べました。皆さん普段より笑顔も見られ日々に「美味しい、美味しい。」と好評でした。

ご家族の皆様におかれましては、予約制による窓越し面会へのご理解と、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスが一日でも早く終息し、ご家族の皆様にお会いできることを、入居者お一人、おひとりがとても楽しみにされております。



(テーブルにはパーテーションが設置されています)

(会話を控えて美味しいはうなずくことにしました)

「笑う門には福来たる」笑顔で迎えた櫻の苑での3年目のお正月

(軽費老人ホーム櫻の苑)

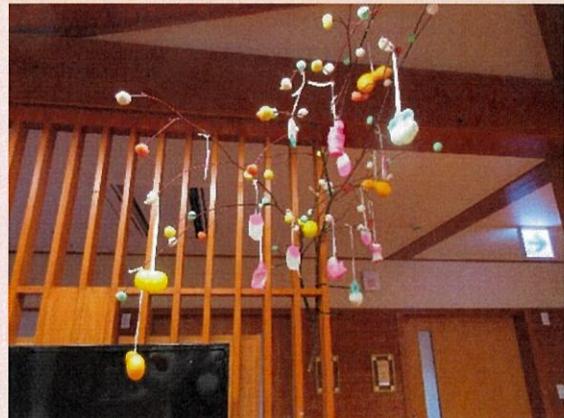
コロナ禍の中で例年とは違うお正月に戸惑いを感じると同時に、元気にお正月を迎えることが出来た幸せを感じられる特別な新年となりました。



(童心にかえって福笑い)



(清らかで凛とした書きぞめです)



(小正月の行事)



(だんごさし)

コロナの終息と、今年も健康で楽しい一年でありますようにと願いを込めて作りました。年が明けても感染予防を最優先とした対応が求められ、以前のような生活にはまだ戻れない状況ではありますが、櫻の苑で出来ること、櫻の苑だから出来ることを大事にして笑い声の絶えない、笑顔溢れる櫻の苑となるよう職員一同頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願ひいたします。